

かわる版

第114号
平成23年5月1日発行

(発行)
富山大学附属病院
病院広報室
076-434-7019



真 剣

新人看護師研修で行われる採血・注射の研修、
ひとつひとつの基本動作を徹底的に学ぶ

目 次

- 病院長からのメッセージ（井上病院長）・・・2
- 診療部門紹介（透析部）・・・3
- 【特集】新戦力・・・4
- ナースステーションから・・・6
- 最新医療探訪（最先端技術を搭載した
3T MRI装置の導入）・・・7
- 趣味遊々（銅鏡の世界に魅せられて）・・・8
- 地域を支える開業医さん・・・9
- 食と健康（心・ストレスと栄養）・・・10
- 患者さんへのお知らせ・・・11
- イベントコーナー・・・12



病院へ続く道路の桜（2011.04.14撮影）

病院長からのメッセージ



Message

病院長
井上 博

～ 病院長に就任して～



病院長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

富山大学附属病院はこれまで県内唯一の特定機能病院として高度で、良質な医療を提供して参りました（例えば医師数は1病床当たり0.47人であり、県内の公的病院の2～3倍となっています）。平成23年1月からは新設の南病棟が稼働を始め、これまで6人が定員であった病室は4人用となり、1人当たりの空間が広がったほか、洗面台等の水回り部分も使い勝手がよくなりました。個室で療養したいという希望が多く寄せられていますので、これにお応えできるよう個室の数を増やし、付属の調度品やシャワー室も充実いたしました。従来の大学病院のイメージとは異なり、療養環境は格段に改善されたことを実感できると思います。

また特定機能病院に相応しい様々な機能の強化を図りました。例えば、新生児から小児の診療を充実させました。周産母子センターの病床数を増やし、集中管理が必要な新生児への対応を強化いたしました（新生児集中治療室〔NICU〕を9床から12床に、新生児回復室〔GCU〕を6床から10床に増床）。これに加えて新生児から小児期の手術（頭部、心臓、腹部など）を集中的に行う、小児の外科治療としては県内で他に類を見ない総合的な診療体制の確立を目指しております。

平成23年7月からは第2期工事として旧病棟の改修、手術室の増室・改修、災害救急センター（仮称）の整備を行う予定であります（ただし本年3月の震災の影響で着工が若干遅れる可能性があります）。病床数は現在の612床と変わら

りませんが、平成26年3月の第2期工事完成の暁にはさらに高度な機能を備えた特定機能病院として生まれ変わります。それまでの間、改修工事のために騒音や部屋の移転、一時的な病床数の減少など、患者さん・ご家族の皆様には何かとご迷惑、ご不便をおかけすることになりますが、何卒ご了承下さいますようお願いいたします。その後、外来部門の増改築を行い、現在よりスペースを広く取り、機能的に配置された外来としたいと考えております。

他の一般病院とは異なり、大学附属病院として新しい治療法の開発にも力を入れています。様々な再生医療（臓器や組織の失われた機能を再生する治療法）が多くの大学病院で行われていますが、本学では羊膜細胞を用いた再生医療を行っており、眼の角膜の再生などに応用され効果を上げています。本附属病院独自の再生医療を先進医療として発展させ、様々な病気で苦しむ患者さんの期待にお応えできるようになりたいと思います。

本院は「病める人の人権や個性を重視した信頼される先進医療を行う」ことを基本理念として謳っています。この実現のため、医療機器の更新、看護師・病棟クラーク・コメディカル職員の増員などに順次取り組んでおります。職員一同が一体となって、富山県の中核病院として皆様のご期待に添えますよう努力を続けて参る所存でありますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成23年4月

診療部門紹介（透析部）

透析部副部長 供田文宏



当院の透析部は、昭和55年4月に中央診療部門の一つとして発足しました。透析部というと、腎不全に対して尿毒素の除去を目的とした血液透析や腹膜透析のみを行っているような印象をお持ちの方も多いと思います。しかし、近年、腎不全以外の様々な病気において、病因物質を血液中から除去することが可能となり、透析療法以外の新しい多くの血液浄化療法が開発されました。現在、透析部では腎不全の方での透析療法を行うとともに、各種の病気や病態に対して様々な血液浄化法を他の診療科と協力して施行しています。また、透析部は日本透析医学会の認定施設にも指定され、4人の透析腎臓内科専門医と豊富な知識と経験を積んだ看護師・臨床工学技士らが綿密な協力体制をとって、質の高い透析医療が提供できるように努めています。

診療体制

現在、10病床で運営しています。今年4月から、透析装置、透析液溶解装置などの機器を更新しました。業務については、月水金に腎不全に対する血液透析を、火木には透析以外の血漿交換・白血球除去・LDLアフェレーシスなどを行っています。

また、周辺の透析施設と病診連携を行ない、時間外の緊急治療にも24時間に対応しています。我が国では透析患者さんが毎年約1万人増加している現状を考えると、より一層の診療体制の充実が望まれるところです。

診療内容

○**血液透析**：透析部では、末期腎不全になられた方の血液透析導入や維持血液透析を行います。また、心臓血管外科、消化器外科や整形外科の手術における周術期の血液透析、合併症や他の診療科にまたがる病気の診療に際しての透析管理についても、経験豊富なスタッフが対応しています。重症の心疾患、末梢血管障害や脳血管疾患の合併症をお持ちの方で、心不全あるいは低血圧のために透析が難しい場合には、血液濾過・血液濾過透析あるいは持続緩徐式血液濾過透析を行い、状態の改善に努めています。血液透析に不可欠なシャントが閉塞した場合は、当院血管外科と協力して対応しています。

○**腹膜透析（CAPD）**：血液透析とは異なり、自分の腹膜を用いて透析を行う方法です。透析開始前に、カテーテルを皮膚の下に一時埋め込み、退院して透析が必要になった段階で皮膚からカテーテルを出して開始する方法（SMAP法）を行なっています。その後は、腹膜透析外来（火曜日の午後）で、腹膜機能検査などを行い、もっとも適した状態になるようにしています。

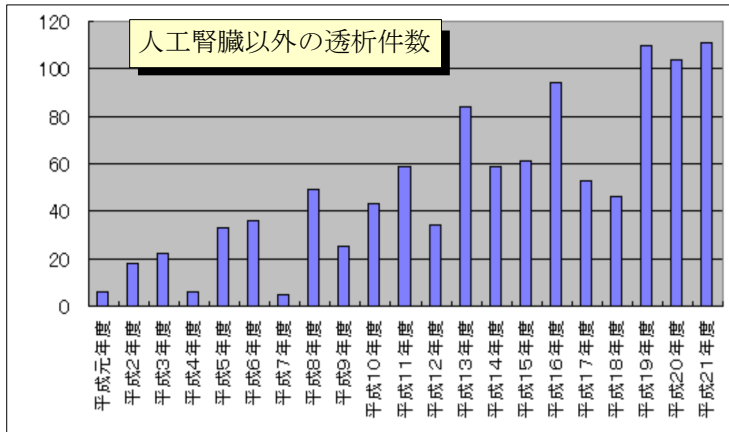
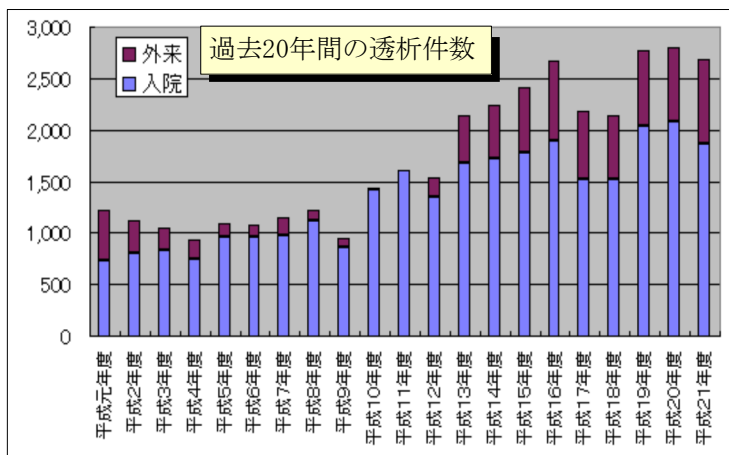
○**血漿交換・白血球除去・LDLアフェレーシス**：①劇症肝炎、血管炎症候群、異常蛋白血症、自己免疫疾患での血漿交換療法、②クローン病、潰瘍性大腸炎、関節リウマチでの白血球除去療法、③閉塞性動脈硬化症、難治性ネフローゼ症候群でのLDLアフェレーシスなどの血液浄化療法にも取り組んでいます。

○慢性C型肝炎に対するウイルス除去療法

：当院の消化器内科と協力して行い、良好な成績を得ています。

○急性血液浄化療法

：手術や外傷後、敗血症などで生じる急性腎不全ならびに多臓器不全に対して急性血液浄化療法やエンドトキシン吸着療法を行っており、高い救命率をあげています。



特集

新戦力

平成23年4月、新たに研修医25名、看護師76名、コ・メディカルスタッフ16名、事務職員7名の新戦力を加え、富山大学附属病院はパワーアップします。



研修医への辞令交付終了後 前列白衣右：井上病院長 白衣左：鈴木副病院長（教育・研修担当）

4月1日（金）10時、医学部大講義室に平成23年4月に附属病院勤務となった新人が集まり、今年度の新人研修がスタートしました。集まった124名の新入職員を前に井上病院長は新入職員の心構えとしてふたつのポイントを話されました。

ひとつは医療人のプロとしてそれぞれの技術を磨くことです。5年後10年後の自分の姿を目標として描きながら、その実現に向かって努力を積み重ねて行くことの大切さです。

またもうひとつは大学病院に勤務されるということの位置づけです。富山大学附属病院は市中病院とは違って、診療だけではなく教育・研究機

関であることです。すなわち、これまでとは違って、今後は実習生を受け入れる立場であり、診療現場でありながら教育する側に立つことの自覚を持つことです。井上病院長の含蓄のある話にも新入職員も真剣に聴き入っていました。

また、これに先立って大会議室では新人看護師76名への辞令交付が行われ、続いて山口看護部長から新人看護師への歓迎のあいさつがありました。これから第一線で働く新人看護師に向けて、知識や技術も大切ですが、何よりも大切なのは人の痛みや気持ちを理解し受けとめることのできる看護師に成長して欲しい、との饒（はなむけ）の言葉がありました。



井上病院長



井上病院長の話を真剣に聴く新入職員



看護師の辞令交付式

23年度の新人 抱負を語る！

新人は職種ごとの研修の後、担当部署に配属され、実際の業務を通じて経験を積んでいきます。

多くの出会いを経験に

3月に新潟大学を卒業し、4月1日より富山大学附属病院で研修を受けることになりました中村美保子と申します。他大学出身のため不安もありましたが、たくさんの「新しい出会い」が私の研修を充実したものにしてくれています。

まずは患者さん方との出会いです。学生実習の頃と比較して多くの患者さんと向き合える機会を持つことができ、その一瞬一瞬から勉強させていただいております。次に、先生方や医療に関わるあらゆる職種の先輩方との出会いです。医療人としても社会人としてもまだまだ未熟な私ですが、温かくご指導していただき、大変感謝しております。そして、同期の研修医との出会いにも恵まれました。大学病院での研修の良いところとして同期が多いということが挙げられますが、これから研修をやっていく中で支え合っていけたらいいなと思います。

これから先も多くの新たな出会いが待っていると思いますが、その一つ一つから学び成長していきたいと思っております。

2年間よろしくお願ひ致します。



中村美保子さん

一人前の看護師を目指して

私は、今年の春に岩手の看護学校を卒業し、富山大学附属病院に就職しました。数ある病院の中からこの病院を志望した理由は、一昨年の夏に就職説明会に参加させていただき、看護部の理念に魅力を感じたからです。看護は単に、ケアや処置をするだけでなく、患者さんを一人の「人」として尊重し関わって



井戸端留妙さん

いくことがとても大切だと考えています。ひとりひとり考え方も異なるため、その患者さんの考えを尊重し、看護に活かしていけるよう頑張りたいと思います。今年の3月、東日本大震災に見舞われ、私の住む地域も地震と津波による壊滅的な被害を受けました。岩手を離れて就職することに戸惑いも感じましたが、今は富山で頑張っていきたいという気持ちでいっぱいです。まだ新しい環境に慣れず、不安なことも多々ありますが、知識や技術を深め、理想の看護師に近づけるよう、日々努力していきたいです。

1年生医師として

4月から当院で研修を受けさせていただいております、三村優仁と申します。新社会人となり、現場に出ることの不安もありますが、医療に誠実に取り組むことで初期臨床研修医として当院の医療に参加、貢献できるよう頑張ろうと思っています。

はじけるような明るさで・・・とは言えない、少し恥ずかしがりな性格ですが、新人として、フレッシュ感と笑顔を心がけて働きたいです！これからの富山大学附属病院での研修の中で社会人として、医療人として成長したいと考えております。お気付きの点があればどんどん教えて下さい。医療を通して、皆様の生活の一助となれますよう努力いたしますので、研修中、どうぞよろしくお願いいたします。



三村優仁さん

ナースステーションから

～東日本大震災DMAT出動～

大規模災害時に被災地に迅速に駆けつけ救急治療を行うため、厚生労働省の認めた専門的な訓練を受けた医療チームがDMAT（災害医療派遣チーム）である。一度に多くの傷病者が発生すると、被災地内だけでは対応が困難な場合も想定される。これに対し、DMATを可及的速やかに被災地域に送り込み、被災地域での緊急治療や病院支援を行いつつ、被災地域で発生した多くの傷病者を被災地域外に搬送できれば（広域医療搬送）、死亡や後遺症の減少が期待できる。

2011年3月11日午後2時46分、M9.0の地震が東北地方太平洋沖で発生し、DMAT出動となった。

未曾有の大災害に直面して

未曾有
な大災害

の超急性期の出動は私自身不安も大きく、また家族の動揺も感じられた中での出動だった。私達は福島空港での広域医療搬送に携わることとなり、空港内格納庫にてそのための準備を進め、24床のベッドを作った。地震、津波、被曝が重なり、まさに未曾有そのもの。被災地外への搬送を重視したSCU（臨時医療施設）の機能は確保できていたものの、災害の規模が大きすぎて一瞬にして命を奪われた方が多く、また救出が思うように進まず、広域医療搬送できる重傷者が少なかった。実際は圧挫症候群2名、下肢切断の1名が搬送され、症状の安定化を図り、航空機搬送のための処置を施し、自衛隊機にて羽田空港へと搬送した。ターミナル内は避難を余儀なくされた方が集まり、SCUの運営と同時に急遽臨時救護所を設営した。



福島空港でのDMATの活動

隊員の中には不眠不休の活動の中、疲労が蓄積し、緊迫した状況にストレスが増大し、涙を流す隊員もいた。DMATは急性期に対応したチームではあるが、急性期ゆえの心のケアも必要であり、また慢性期の災害に対する知識も有する必要がある。災害時のあらゆる状況、ニーズにも対応できるよう今後も研修、訓練を重ね、日々災害に対する意識を高めていくことが必要だと感じた。
ICU看護師 長澤宏美

被災された方々の再起を祈る

災害発生当日に病院を出発し、拠点病院2か所を経て岩手県陸前高田市に到着したのは翌日の昼だった。私達のチームは避難所の医療情報収集に向かった。私自身初めてのDMAT活動であり、被害状況不明の大災害で役割を果たせるかという不安と、度重なる余震による恐怖に襲



被災した陸前高田市の様子

られた。

避難所では800人以上の方々がお越し、安否確認に続々と人が訪れていた。全てが流されてしまった、何も持たずにただ逃げてきたという、乳児から高齢者を含む全員の健康状態を把握する一方で「家族と連絡が取れない」「何をやる気力も起こらない」そう話す方々へのこころのケアの必要性を痛感した。

今回の活動を通し、災害医療の奥深さと幅広さを実感し、あらゆる状況に対応できるようになりたいと強く感じた。また、突然の派遣要請にも関わらず、快く応援してくれた病棟スタッフの方々にもお礼を申し上げたい。

被災地の一日も早い復興を祈り、被災された方々の鋭く深いこころの傷が少しでも和らぐ日が一日も早く来ることを祈る毎日である。

西2階病棟看護師 松丘かおり

最新医療探訪

～ 最先端技術を搭載した3T MRI装置の導入 ～

放射線診断・治療学 准教授 野口 京

日本にMRI装置が導入されて約30年が経過しました。MRI装置は、日常の診療で欠くことができない重要な画像診断装置となっています。本年4月、当院に3T MRI装置(MAGNETOM Verio、Siemens社製)が、富山県で初めて導入されました。本装置は現時点におけるこのクラスで最高性能を誇る機種です。

3T MRI装置の特徴

MRI装置の静磁場強度が上がると高画質画像が撮像できるようになります。当院に導入された3T装置の画質は1.5T装置の約2倍であり、その上、1.5T装置よりも広いガントリ開口径(70cm)を有しており、検査における快適性と高画質を両立した最新のMRI装置です。

3T装置の臨床的有用性は、中枢神経(頭部)領域においてはすでにゆるぎないものとなっています。その一方で、体幹部を中心とした他の領域においては、その臨床的有用性に関して様々な期待がされているものの、現時点でその有用性が確認されているのは、骨軟部や骨盤部領域に限定されています。しかしながら、この数年間で体幹部の撮像における課題が急速に解決されてきているため、近い将来、体幹部領域においても高画質画像が撮像できるようになると思われます。なお当院では、3T装置の新規導入に加えて、最先端技術を搭載した2台の1.5T装置(MAGNETOM Avanto)もほぼ同時期に導入しており、体幹部領域においては、その最新の1.5T装置にて旧式の1.5T装置とは一線を画する画像が撮像できています。



写真1：3T MRI装置

3T装置における頭部MRI画像の長所

T1およびT2強調画像(a)にて、てんかんや認知機能障害の診断に必要な海馬などの細かい部分をより鮮明に描出することができます。磁化率強調画像(b)では出血や静脈疾患の描出能が向上します。

動脈血液中のプロトンを経磁気学的にラベルすることで造影剤を使用せずに灌流画像(c)を得ることができます。磁気共鳴血管画像(d)は、細い血管の描出がより良好となり1-2mm程度の小さな脳動脈瘤の診断が可能です。拡散テンソル画像(e)にて神経線維の走行を描出できるため、脳腫瘍や脳出血の術前検査として有用です。さらには、より明瞭な脳代謝画像(proton MR spectroscopy)や脳機能画像(functional MRI)を得ることができます。

MRI検査の注意点

MRI検査は、強静磁場環境下にて高速変動傾斜磁場と電波(FMラジオの周波数帯)の照射を組み合わせ撮像され画像が作成されます。強磁場環境下での検査であるため、心臓ペースメーカー装着者や1990年代以前(1980年代以前のものには検査できず、1990年代のものは材質確認が必要)の古いタイプの脳動脈瘤クリップ装着者は、MRI検査を受けることができません。なお、MRI検査は、CT検査とは異なりX線を使用しないので、検査に伴う放射線被曝はありません。

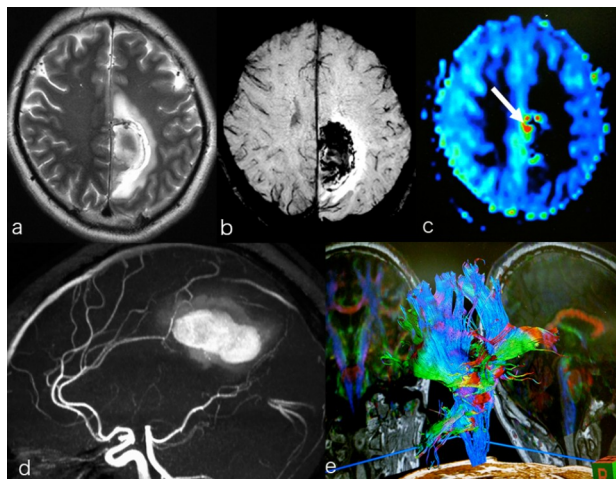


写真2：脳動静脈奇形による大脳皮質下出血

趣味遊々

放射線科教授 瀬戸 光



銅鏡の世界に魅せられて

北九州の弥生時代の古墳から、中国の西漢時代（B. C. 202-A. D. 8）の銅鏡が多数出土している。その中に連弧文銘帯鏡という小さな鏡がある。銘帯には記号と交互に漢字で「見日之光 天下大明」と書かれている。古代の中国人が日、すなわち太陽を崇拝していたことが分かる。これらの銅鏡の出土は、紀元前1世紀頃にはすでに北九州の国々と西漢との間に交流があったことを裏付けている。しかし、当時の日本には漢字が普及しておらず、これらの文字を理解していた可能性は低い。日本で本格的に漢字が使用されたのは聖徳太子が活躍した飛鳥時代に入ってからである。奈良時代になると中国の文化・技術を学ぶために遣唐使が幾度も派遣されている。井上靖の小説「天平の甕」では留学生や留学僧の活躍と唐招提寺を開いた鑑真和尚の来日までの苦難が描かれている。大唐の都長安は人口が百万人以上いたと言われており、シルクロードを介して東西文明の交流が盛んに行われていた。当時は世界最高水準の文化の街であり、各国が競って遣唐使を派遣していた。

古代中国の銅鏡は錫を多く含んでいるため白銅とも言われ、鏡面は銀色を呈している。鏡は手のひらにのる小型のものが多く、西漢晚期以降は大型鏡が出現してくる。また鏡背には紋様だけでなく、銘文のあるものが出現し、東漢、三国、隋、唐代まで見られる。銅鏡の製作は尚方（しょうほう）という部署が管轄しており、冶金学の技術水準の高さに驚くばかりである。戦国晚期から西漢にかけての銘帯は孔子（B. C. 551-479）の論語や屈原（B. C. 343-278）の楚辞などの影響を受けたものが多い。国が安定した東漢（A. D. 25-220）に入ると銘文の内容も国家安泰、五穀豊穰、人民平和などの願いが玄武朱雀などの神獣と伴に鑄込まれている。さらに、現実的な願いである富貴、長寿や宜子孫の銘文も見られる。

中国はどこかの街へ行っても城門、楼閣、寺院などの一番高い所には大きな扁額が飾ってある。漢字で書かれた銘を見るとその迫力と威厳に圧倒されてくる。古代から中華思想と漢字文化が周辺諸国に与えた影響は計り知れない。朝貢のための外交文書の公用語は漢字が使われていた。周辺の国々の中で日本だけが独自の文字を發明せず今日まで漢字を使い続けてきた。現代まで物質文明は著しく進歩してきた。しかし、文化や思想はあまり進歩していない。

「歴史は繰り返す」という諺がある。人間の基本的な考え方（衣・食・住・銭・地位）は古代からあまり変わっていない。平成23年3月11日に東日本太平洋岸が大地震と巨大津波におそわれた。その惨状は目を覆いたくなる光景であり、全てを破壊し洗い流してしまった。未曾有の巨大津波と報道されているが、1200年前の貞観11年（A. D. 869）にも陸奥国府まで巨大津波が押し寄せた記録があり、「天災は繰り返す」という先人の教えを忘れてはならない。

合掌



食と健康

～心・ストレスと栄養～

栄養管理室長
矢後 恵子

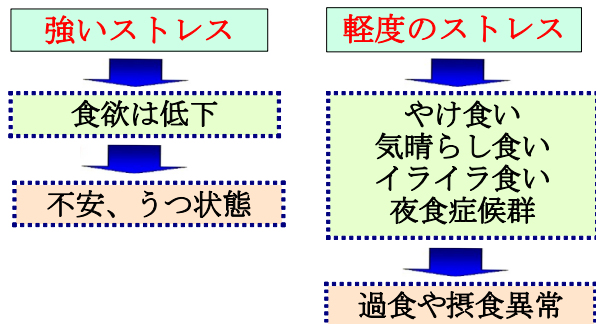
私たち人間が活着しているということは、日々、心や身体が何らかのストレスにさらされているといえます。気温の変化、騒音、外傷や火傷など物理的刺戟や対人関係から生じる心のストレスなど様々なものがあります。ストレスは、このような体外からの刺戟に対し、身体の中で起る様々な反応です。その反応の長さや強さによって、胃潰瘍や摂食障害を引き起こしたり、高血圧、虚血性疾患、糖尿病などの生活習慣病

病などを引き起こしたりする可能性もあります。ストレスを受けると生体は神経系、内分泌・代謝系、免疫系が恒常性を保つように反応します。そのことによって、神経内分泌が変化し、インスリン感受性を低下させ、更にはメタボリック症候群へとつながります。

こころの健康を維持し、ストレスに打ち勝つためには、日頃からバランスよく食事をとり、適度な運動を心がけましょう。

ストレスと食欲

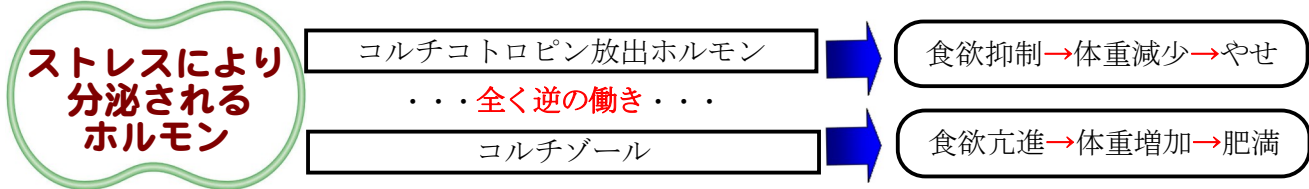
※ストレス時には摂食行動が変化する。



＜一日の食事を
3食、バランス良く 食べましょう！＞

毎食
主食・蛋白質食品・野菜類を組み合わせる食べ方！

<p>主食 穀類</p> <p>ご飯・麺類・パン</p>	<p>主菜 蛋白質食品</p> <p>魚・肉・卵・大豆</p>	<p>副菜 野菜類</p> <p>野菜・海藻・きのこ・こんにゃく</p>
----------------------------------	-------------------------------------	--



食事とストレス

心の問題やストレスに対して、食事や食習慣の癒しの効果が重要であると考えられています。ひとりの寂しい食事や貧しい食生活はストレスの増大や摂食障害を招きますが、適切な食生活からは生活リズムや心の安らぎが得られます。

食事と栄養の役割

食事と栄養は生命を維持し、生体の機能を増進させます。また人間の五感（臭いや味覚）を刺激し、精神的満足感を与えます。食事と栄養によって人間の体内リズムが保たれ、加齢、免疫システム、防御など生理的調整機能を果たすことができます。

食欲のない時や胃炎の時は、消化に良い物をお勧めします。

硬すぎないもの / 胃内停滞時間が短いもの
お粥、煮込みうどん、白身魚、軟らかく煮た野菜など
(かぶ、にんじん、大根、ほうれん草、カリフラワー、キャベツ等)
果汁、バナナ、かんづめ、おろしりんご等

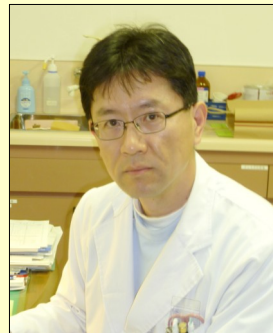
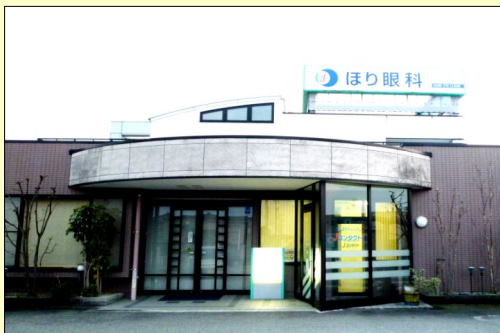
消化に悪いもの、タコ、イカ、貝類、干物、繊維の多いものは避けましょう。

地域を支える開業医さん

このコーナーでは本院に多くの患者さんを紹介している
 いただいている地域の開業医さんをご紹介します。

ほり眼科クリニック

所在地 富山市城川原2-1-11
 TEL 076-437-1400
 診療時間 午前 8:40～11:40
 午後 1:40～5:40
 ◆水曜日 午後 4:30～5:40
 ◆土曜日 午後 4:00まで
休診日 日曜・祝祭日・木曜午後



院長 堀 津良志 先生



院長先生より一言

いつも富山大学附属病院の皆様には、大変お世話になり有難うございます。私は昭和63年に7期生として富山医薬大を卒業し、9年間眼科学教室にお世話になりました。関連病院勤務の後、平成9年5月に開業し14周年を迎えました。その間富大眼科の先生方には常に助けていただき、大変感謝しております。これからも手術が必要な症例を中心に、密接な病診連携の関係を続けさせて頂きたいと願っています。

大沢野クリニック

所在地 富山市上二杉420-2
 TEL 076-468-3300



【診療時間】

整形外科 内科 リハビリテーション科	平日	午前8:30～12:00 午後2:00～6:30
	木・土曜	午前8:30～12:00 午後2:00～6:00
	日曜・祝日は休診	
耳鼻咽喉科	平日	午前8:30～12:00 午後2:00～6:30
	土曜	午前8:30～12:00 午後2:00～6:00
	木曜・日曜・祝日は休診	
皮膚科	火曜	午後3:00～6:00
循環器内科	水曜	午前8:30～11:30
眼科	火曜	午前9:00～12:00
	木曜	午前9:00～12:00 午後2:00～5:00



院長 高野 隆 先生

院長先生より一言

平成3年に開設し整形外科、内科、耳鼻咽喉科を常勤5名、大学の協力を得て皮膚科、循環器を非常勤で診療しており、皆富山医薬大のOBです。患者実人数は月3,000名以上、小児から高齢者まで多くの患者さんが来院され、大学をはじめとする中核病院との病診連携によって地域医療貢献をモットーにスタッフ一同頑張っています。最近、MRI、画像ファイルシステム、電子カルテ、血液測定器の導入、超音波診断装置と電子内視鏡の更新などで診断能力の向上に努めてきました。また訪問看護ステーションを併設して、在宅医療にも早くから力を入れており、今年度は地域医療研修の一環で大学に協力させて頂くことになっています。今後も一層富山大学との連携を深め地域医療に貢献したいと思います。

患者さんへのお知らせ

医療サービスグループ

特別室(南病棟個室)のご案内

～ 落ち着いた静かな空間を ～

- 入院生活をより快適にお過ごしいただけるよう、ご用意いたしました。
- 患者さんのプライバシーには、スタッフ一同、配慮しております。
- ご利用を希望される患者さんは入院予約時に、各フロアの看護師長までお申し出ください。

室名	面積	室料差額	室数	備考
個室A室	23㎡	8,400円	27室	2階から7階に2～9室

【装備品】

- ①ユニットシャワー・トイレ ②洗面台 ③小型冷凍冷蔵庫 ④オープンレンジ ⑤ソファ ⑥収納庫
⑦床頭台テレビ（無料） ⑧電話（有料※） ⑨AM・FMラジオジャック
⑩インターネットLANコンセント（接続無料）

室名	面積	室料差額	室数	備考
個室S室	32㎡	24,000円	2室	367号室、667号室

【装備品】A室の①～⑩の装備品に加えて

- ①ミニキッチン ②冷凍冷蔵庫 ③ジャーポット ④IHクッキングヒーター ⑤デスク
⑥インターネットパソコン（接続無料） ⑦液晶テレビ（42インチ）・ブルーレイ・DVDプレイヤー
⑧AM・FMラジオジャック ⑨応接セット ⑩ワードローブ ⑪アームチェア ⑫キャビネット（TV付）
⑬フロアスタンド ⑭朝刊サービス（北日本新聞、富山新聞、日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、中日スポーツ、スポーツ報知のうちご希望の新聞1紙を毎朝お部屋にお届けします。

※「室料差額」は1日当たり税込みです。

入退院日の時間に関係なく、入院日・退院日それぞれ1日として算定します。

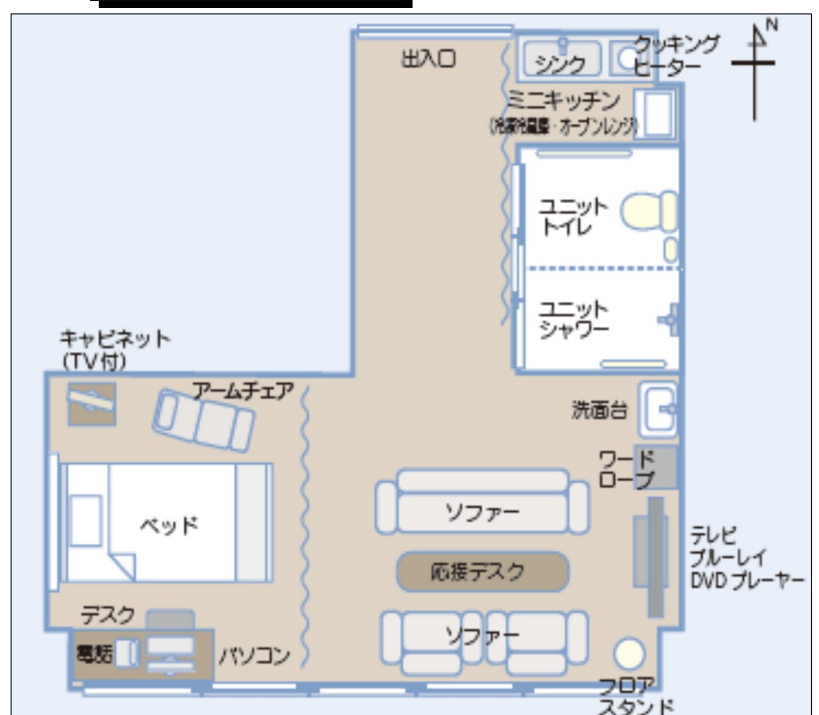
※電話をご使用の際には専用のTVカードが必要となります。

（ご使用後は精算可能です。）

【個室A室】の見取り図



【個室S室】の見取り図



※お部屋によって室内装備等の配置が異なることがあります。

イベントコーナー

スプリングコンサート



ピアノと司会：伊藤円さん

3月21日(祝日)、春分の日とは言えまだ肌寒い日でしたが、病院の玄関ホールには春の歌声が響いていました。富山県出身の愛知県立芸術大学4年在学の4人が「日本の春のうた」をテーマにコンサートを開きました。「早春賦」「花」など皆さんお馴染みの歌を中心に10曲が歌われ、会場に集まった入院患者さんやご家族とともに和やかなひとときとなりました。



左からソプラノ：松村美里さん、安田裕美さん、メゾソプラノ：安井綾香さん

クリニックラウンがやってきた



小児病棟を訪れたクリニックラウンとスタッフ

3月22日(火)午後、日本クリニックラウン協会からふたりのクリニックラウン(愛称：クマとモッチ)が小児病棟を訪問しました。昨年のデモ訪問に続き2回目となる訪問です。入院中の子ども達約30人の病室を訪ね、笑いや遊びを通じて子ども達とふれあいました。

クリニックラウンとはClinic(診療所)とClown(道化師)を合わせた造語、日本では『臨床道化師』と呼ばれています。

入院生活ではこどもの成長に不可欠な新鮮な出会いや、創造的な遊びが制限され、どうしても治療優先となってしまいます。



訪問前の打合せ

中には1ヶ月以上も病室から出ることのできないお子さんもいます。訪問前には小児病棟の看護師さん・保育士さんと入念に打合せを行い、お子さんの病気の状況や体調を十分に把握し、病室を訪問します。

初めてクラウンと接するお子さんは最初は緊張気味ですが、訓練されたクラウンの声かけや遊びで子どもらしい笑顔に変わって行きます。

23年度は年4回の定期訪問も計画されており、今後も継続して入院中のお子さんたちをサポートすることになっています。

次の訪問は6月頃が予定されています。



病室で子ども達と遊ぶクリニックラウン

編集後記 「病院交差点」

東日本の大震災と原発の放射能漏れ、日本を襲った大きな災害はその復興まで長い時間がかかるのではないかとされています。富山県からの要請による現地の医療支援活動や患者さんの受け入れなど、当院としても現状の診療を維持しながら協力できる部分で対応を行っています。今回の災害は人的被害だけではなくあらゆる分野に大きな影響を与えています。被災地から遠く離れた当院においても、医薬品や医療材料の供給、設備調達などにも影響が出ています。

現地の工場の被害による直接的な影響だけではなく、国内の様々な生産活動をはじめ多くの世界中の企業

へ活動にまで影響をもたらしています。また、計画停電の話は今さらながら生活の多くを電気に依存している私たちの暮らしそのものへの警鐘となりました。災害直後のある集落の避難生活がニュースで放送されていましたが、リーダーを中心に避難生活に必要な物資の抛出、割り当てから共同利用までコミュニティの結束が危機を乗り切っている姿に感銘を受けました。日本人が昔から持っている協調精神のルーツを見たような気がします。一旦問題が発生した時の困難を乗り切るのは文明の利器ではなく、人と人のつながりと信頼関係かもしれません。(病院広報室 S. I 記)